

## 2025年 大山工場 ウォータースチュワードシップ（WS※1）活動

| 【AWSアウトカム目標】<br>共有する水に関する関心事項と課題                             | 長期目標                                                                     | 2025年目標                                                            | 2025年活動およびパフォーマンス結果                                                                                                   | 2026年計画                                                                            |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 【グッドウォーター ガバナンス】<br><br>地域ステークホルダーとの協働および<br>流域の安定的な水資源利用の継続 | ・ 持続可能な水資源利用に向けた、ステークホルダーとのコミュニケーションの強化・維持                               | ・ 主要なステークホルダーとの水資源に関する意見交換の実施（1回/年）<br>・ 地下水協議会会議体への継続的な参画（1回以上/年） | ・ 主要なステークホルダーとの意見交換を実施（1回/年）<br>・ 地下水協議会会議体へ参画（2回/年）                                                                  | ・ 主要なステークホルダーとの意見交換の実施（1回以上/年）<br>・ 地下水協議会会議体への参画（1回以上/年）                          |
|                                                              | ・ 持続可能な水資源利用に向けた、地域貢献活動の協働                                               | ・ 周辺流域における美化活動への参加（1回以上/年）                                         | ・ 近隣における美化活動に参加（2回/年）                                                                                                 | ・ 流域ステークホルダーと協働して実施する、「水の日のイベント」水循環ツアーにおける工場見学の受け入れ                                |
| 【持続的な水バランス】<br><br>持続可能な水資源管理への取り組み                          | ・ 2035年までにWUR※2 2015年比35%削減（全工場単位）                                       | ・ 年次の水使用量削減目標の達成                                                   | ・ 水使用量削減の取組みにより、2015年比でWUR24%削減（全工場単位）                                                                                | ・ 年次の水使用量削減目標の達成                                                                   |
|                                                              | ・ 水源涵養機能を有する森林の適切な管理<br>水源涵養率 2035年目標 350%（全工場単位）<br>（面積確保/水源涵養機能の維持・向上） | ・ 森林保全活動の実施<br>・ 水源涵養率 350%（全工場単位）                                 | ・ 森林保全活動を実施<br>・ 水源涵養率 391%（全工場単位）                                                                                    | ・ 森林保全活動の実施<br>・ 水源涵養率 350%（全工場単位）                                                 |
| 【良好な水質】<br><br>河川水質の維持に向けた、排水水質の適切な管理                        | ・ 流域の健全な水環境の維持に向けた、流域へ還す排水の良好な水質の維持                                      | ・ 排水水質について、KORE※3 および法令基準のうち、より厳しい方の基準を適用し、継続して遵守する                | ・ 適用される基準を遵守し、良好な排水水質を維持している                                                                                          | ・ 排水水質について、KOREおよび法令基準のうち、より厳しい方の基準を適用し、継続して遵守する                                   |
| 【健全な淡水生態系と生物多様性（HFEB※4）】<br><br>流域の生物多様性保全活動の推進              | ・ 「コカ・コーラ ボトラーズジャパン水源の森（ほうき）」における淡水生態系および生物多様性の保全・向上                     | ・ 生物調査結果の分析および保全活動案の検討<br>・ 生物多様性保全活動および生物観察モニタリングの実施（1回/年）        | ・ 生物調査結果の分析と、次年度に向けた保全活動案の検討を実施<br>・ 「森に学ぼう」プロジェクトを通じて、ため池周辺の草刈りによる生息・生育環境の維持向上、およびスマートフォンアプリを活用した生物観察モニタリングの実施（1回/年） | ・ 「コカ・コーラ ボトラーズジャパン水源の森（ほうき）」における生物多様性保全活動の実施（1回/年）<br>・ 生物多様性の保全・向上を目的とした、森林整備の実施 |
| 【すべての人に対する安全な水と衛生（WASH※5）】<br>安全な水の継続的な確保                    | ・ 地域活動等における飲料水確保への貢献、災害時における近隣住民の安全な水アクセスへの支援                            | ・ 地域活動への飲料水提供（5回以上/年）<br>・ 災害時や断水時における、防災協定に基づく近隣住民への給水支援および施設の提供  | ・ 地域活動へ飲料水提供を実施（6回/年）<br>※給水支援・施設提供を伴う災害は発生していない。<br>なお、供給する上水は水道法基準を満たしており安全な水供給を維持している（外部分析：1回/年）                   | ・ 地域活動への飲料水提供（6回以上/年）<br>・ 災害時や断水時における、防災協定に基づく近隣住民への給水支援および施設の提供                  |

※1 WS (Water Stewardship)：ウォータースチュワードシップ（責任ある水管理）

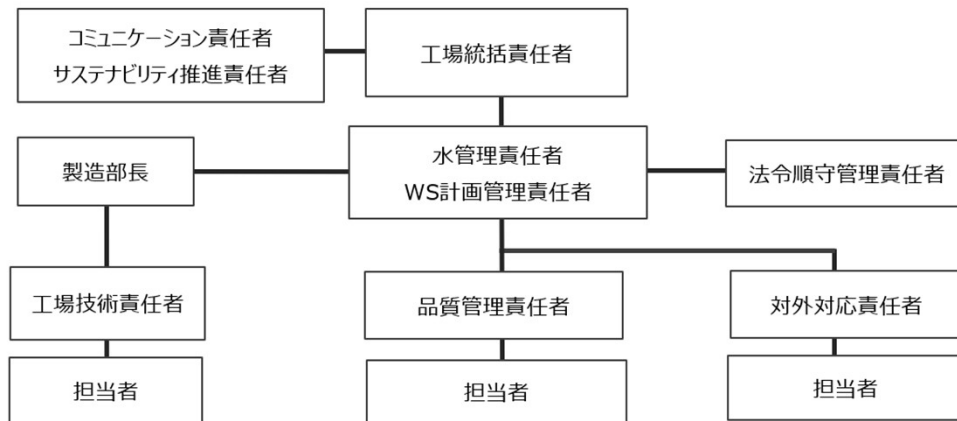
※2 WUR (Water Use Ratio)：製品1L製造する際に使用する水

※3 KORE (Coca-Cola Operating Requirements)：コカ・コーラシステム独自の基準

※4 HFEB (Healthy Freshwater Ecosystems and Their Biodiversity)：健全な淡水生態系と生物多様性

※5 WASH (Water, sanitation and Hygiene)：安全な飲料水、衛生設備（トイレ等）および衛生習慣（手洗い等）にアクセスできる状態

## 水管理に関するガバナンス体制



## 排水水質の管理/ 目標に対するパフォーマンス

対象期間：2025年1月1日～12月31日

| 水量/水質を示す指標          | 単位              | 水量  | 法令基準値   | 実測値<br>(レンジ) | 実測値<br>(平均)     |
|---------------------|-----------------|-----|---------|--------------|-----------------|
| 揚水量                 | 千m <sup>3</sup> | 246 |         |              |                 |
| 排水量                 | 千m <sup>3</sup> | 102 |         |              |                 |
| pH<br>(水素イオン濃度)     | -               |     | 5.8-8.6 | 7.7-8.2      | 8.0             |
| BOD<br>(生物化学的酸素要求量) | mg/L            |     | 160     | 0.2-6.1      | 1.2             |
| COD<br>(化学的酸素要求量)   | mg/L            |     | 160     | 1.1-2.4      | 1.9             |
| SS<br>(浮遊物質)        | mg/L            |     | 200     | —            | ND<br>(定量下限値未満) |
| 大腸菌数                | CFU/ml          |     | 800     | —            | 0.0             |

当社のAWSウォーターシュワードシップ計画を含む、「水資源の責任ある利用と管理」に関するご質問やコメントは、SCM-Sus-1@ccbji.co.jp までご連絡ください。

なお、お電話でのお問い合わせをご希望の場合は、当社コンタクトセンター代表電話（0800-919-0509）へご連絡いただき、

SCM本部 QSE&サプライチェーンエクセレンス統括部 サプライチェーン戦略グループ 統括部

サステナビリティ推進部 推進1課へのお取り次ぎをお申し付けください。

原則として1週間以内を目安に、回答いたします。